

# 市議会議員あいざき佐和子の活動ニュース v o 1.31 ITAMI大好き! 2013年3月

## “会派”って何だ?! ~フォーラム伊丹を結成~

### ■“会派”ってご存知ですか?

みなさんは、市議会の“会派”をご存知ですか?  
「よく知っている」「聞いたことがある」「全く知らない」・・・実は私、議員になる前はよく分かっていませんでした。そこで今回は、“会派”について書かせていただきます。

### ■伊丹市議会の会派はこうだ

会派とは「主義・主張を同じくする人々が結成した派閥や団体（大辞林より）」。「伊丹市議会でも、思いや方向性が同じ議員同士でグループを結成しており、このグループを“会派”と呼んでいます。現在の伊丹市議会の会派構成は、以下の通りです。

会派名	人数	議員
公明党	6	山内・坪井・北原・山本・竹村・篠原
新政会	6	吉井・大路・加藤・市川・戸田・佐藤
フォーラム伊丹	6	川上・桜井・西村・保田・山藪・相崎
日本共産党伊丹市議会議員団	3	上原・加柴・久村
蒼翠会	2	杉・中田
会派に属さない議員	4	新内・泊・林・小西

※岩城氏は2月22日辞職

相崎はココ



会派の組み方はいろいろ。公明党や共産党のように、同じ党で組むところもあれば、方向性を一にした議員同士で組むところもあります。伊丹市議会は、2人から会派結成が可能です。

### ■「フォーラム伊丹」を結成!

上記のとおり、相崎は「フォーラム伊丹」なる会派に所属しています。「フォーラム伊丹」は、この2月に新しく結成した会派です。立場や組織は各議員それぞれですが、同じ理念を有し、議論を重ね、よりよい伊丹を創っていくというメンバーで構成しています。

#### ~フォーラム伊丹 理念~

我々、フォーラム伊丹は、次の理念の下、政治活動を行う。

- 未来に責任ある政治、すなわち持続可能な社会システムの構築を目指す。
- 「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」の立場に立ち、既得権や癒着の構造と闘う。
- 明朗な手続きで定められた公平・公正なルールの下での自由競争を基本としつつ、社会的弱者への手当てを適切に行える社会システムを目指す。
- 市民が生涯に亘って自己形成・自己実現できる社会環境を整備する。
- 民間の活力を活用しつつ、地域主権を実現するため国・県・市の役割分担を見直すことで、効率的で効果的な行政サービスを提供できるよう自治体業務を改善する。

### ■会派のメリット・デメリットは?

ここまで読まれた方は、「で、会派を組む意味ってあるの?」と思われるかもしれません。誠にごもつとも。会派の意義は、「議会活動をよりスムーズに進めるため」となっています。実際のメリット・デメリットは、以下のようなところと認識しています(あくまで個人的印象)。

- **メリット**: 情報共有しやすい・議員同士で議論しやすい・政策実現の可能性が高いかも(賛同議員を得やすいので)・役職(議長・副議長・監査・委員長など)になりやすい
- **デメリット**: 会派内で意見や行動などを、一定協調していく必要がある

私は、必ず会派を組まねばならないとは思っていません。会派の人数が多かろうと少なかろうと、また会派に属していなかろうと、議員の発言力などは平等です。

ただ今回は、理念を同じくする議員で結集できたゆえ、新しい会派を結成した次第です。実現したい政策について、議員同士で議論を重ね、より力強く推進していけると思っています。

今回、「フォーラム伊丹」を新しく結成したこともあり、会派について取り上げてみました。普段の市民の生活にはあまり影響もないハナシですが、「そんなことやってるんだ」とお見知りおきいただければとの思いで取り上げてみました。改めての“議会内の会派”のハナシでした。